



平成31年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年4月26日

上場会社名 株式会社 三ツ知

上場取引所 東名

コード番号 3439 URL <http://www.mitsuchi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 和志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 村越 康幸

TEL 0568-35-6350

四半期報告書提出予定日 平成31年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年6月期第3四半期の連結業績(平成30年7月1日～平成31年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年6月期第3四半期	10,956	3.1	586	28.6	659	37.7	466	25.9
30年6月期第3四半期	10,632	6.3	456	2.0	478	3.7	629	90.9

(注) 包括利益 31年6月期第3四半期 460百万円 (39.1%) 30年6月期第3四半期 755百万円 (89.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年6月期第3四半期	184.33	
30年6月期第3四半期	248.70	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年6月期第3四半期	15,696	8,415	53.6
30年6月期	15,408	8,119	52.7

(参考) 自己資本 31年6月期第3四半期 8,415百万円 30年6月期 8,119百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年6月期		30.00		35.00	65.00
31年6月期		30.00			
31年6月期(予想)				35.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年6月期の連結業績予想(平成30年7月1日～平成31年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,607	3.1	731	33.2	810	32.0	576	19.3	227.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年6月期3Q	2,652,020 株	30年6月期	2,652,020 株
期末自己株式数	31年6月期3Q	120,503 株	30年6月期	120,437 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年6月期3Q	2,531,558 株	30年6月期3Q	2,531,583 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11
3. 補足情報	12
(1) 販売実績の状況	12
(参考資料)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調が持続しているものの、米国及び中国の貿易摩擦や英国のEU離脱による影響、及びアジア諸国の成長鈍化等により、世界経済の停滞が懸念されるなど、景気の先行きは不透明な状況となっております。

当社グループの主要得意先であります自動車部品業界におきましては、中国における景気減速の影響を受けつつも、国内・海外共に堅調に推移いたしました。

このような経営環境の中、当社グループでは、経営理念であります「絶えざる技術革新」と「ニーズを先取りした製品」の「スピードある提供」を通じ、お客様の「揺るぎない信頼のもとグローバル企業」を実現するために、中期経営計画の第3年目として、平成30年9月に就任した新社長を中心に、営業・製造・管理部門が一体となって、対処すべき課題の解消及び中期経営計画の達成に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高につきましては、すべてのセグメントにおいて堅調に推移し、売上高は109億56百万円（前年同期比3.1%増）となりました。一方利益面につきましては、中国セグメントでは鋼材値上げの影響等により減益となりましたが、その他のセグメントでは、増収による売上総利益の増加等を受け、営業利益は5億86百万円（前年同期比28.6%増）、経常利益は6億59百万円（前年同期比37.7%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期に特別利益として旧本社不動産売却による固定資産売却益2億38百万円の計上があったため、4億66百万円（前年同期比25.9%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①日本

新規受注の増加及び海外輸出用の受注増加等により、売上高は91億37百万円（前年同期比3.6%増）となりました。利益面につきましても、鋼材価格の値上げの影響はあったものの、増収の効果により、営業利益は3億93百万円（前年同期比37.4%増）となりました。

②米国

新規製品が堅調に推移し、売上高は9億78百万円（前年同期比1.1%増）となりました。利益面につきましても、原価低減活動による製造経費の減少等により、営業利益は51百万円（前年同期比17.6%増）となりました。

③タイ

米国向け輸出の増加及び国内受注の増加等により、売上高は17億6百万円（前年同期比10.4%増）となりました。利益面につきましても、増収の影響及び原価低減活動による製造経費の減少等により、営業利益は1億22百万円（前年同期比41.4%増）となりました。

④中国

得意先からの受注増加等により、売上高は3億59百万円（前年同期比6.0%増）となりました。一方利益面につきましては、鋼材価格の値上げの影響と諸経費の増加等により、営業利益は4百万円（前年同期比65.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2億87百万円増加し、156億96百万円となりました。

資産の部では、流動資産がたな卸資産の増加、受取手形及び売掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ4億3百万円増加し、100億85百万円となりました。また、固定資産については、投資有価証券の減少等により前連結会計年度末に比べ1億15百万円減少し、56億10百万円となりました。

負債の部では、流動負債が支払手形及び買掛金、賞与引当金等の増加等により、前連結会計年度末に比べ1億7百万円増加し、38億84百万円となりました。また、固定負債については、長期借入金の増加等があったものの社債の減少等により前連結会計年度末に比べ1億15百万円減少し、33億96百万円となりました。

純資産の部では、為替換算調整勘定、利益剰余金の増加により、84億15百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の52.7%から53.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ18百万円減少し、40億71百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益6億59百万円、減価償却費4億56百万円、仕入債務の増加額91百万円等による資金増があり、一方でたな卸資産の増加額3億98百万円、法人税等の支払額1億47百万円等による資金減により、6億81百万円の収入(前年同期比7.0%減)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、保険積立金の払戻による収入89百万円、有形固定資産の売却による収入6百万円の資金増があり、一方で有形固定資産の取得による支出3億81百万円等による資金減により、3億49百万円の支出(前年同期は3億53百万円の収入)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入6億30百万円等の資金増があり、一方で長期借入金の返済による支出5億42百万円、社債の償還による支出2億57百万円等の資金減により、3億44百万円の支出(前年同期比42.1%減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成31年1月31日に公表いたしました予想から変更はございません。

なお、これらは当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成31年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,136,156	4,118,739
受取手形及び売掛金	2,140,421	2,197,569
電子記録債権	926,774	913,553
たな卸資産	2,230,873	2,638,455
その他	247,960	217,077
流動資産合計	9,682,186	10,085,395
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,397,097	1,428,068
機械装置及び運搬具(純額)	1,601,460	1,643,737
土地	1,497,614	1,507,847
リース資産(純額)	59,821	49,053
建設仮勘定	124,940	71,920
その他(純額)	231,202	192,793
有形固定資産合計	4,912,135	4,893,421
無形固定資産		
のれん	43,578	—
その他	164,735	153,972
無形固定資産合計	208,314	153,972
投資その他の資産		
投資有価証券	210,616	176,234
その他	409,256	387,413
貸倒引当金	△13,870	△220
投資その他の資産合計	606,002	563,427
固定資産合計	5,726,453	5,610,820
資産合計	15,408,639	15,696,215

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成31年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,344,725	1,427,556
電子記録債務	817,171	829,550
1年内償還予定の社債	257,280	209,280
1年内返済予定の長期借入金	639,384	651,482
リース債務	55,089	31,308
未払法人税等	61,276	89,756
賞与引当金	16,686	97,406
役員賞与引当金	17,715	15,300
その他	568,260	533,039
流動負債合計	3,777,589	3,884,680
固定負債		
社債	1,001,800	792,520
長期借入金	2,237,380	2,319,187
リース債務	59,815	73,028
役員退職慰労引当金	62,144	54,624
退職給付に係る負債	34,893	35,140
その他	115,373	121,673
固定負債合計	3,511,407	3,396,173
負債合計	7,288,996	7,280,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	405,900	405,900
資本剰余金	604,430	604,430
利益剰余金	6,995,293	7,297,373
自己株式	△133,791	△133,924
株主資本合計	7,871,833	8,173,779
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,696	3,647
為替換算調整勘定	216,112	237,935
その他の包括利益累計額合計	247,809	241,582
純資産合計	8,119,643	8,415,362
負債純資産合計	15,408,639	15,696,215

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成31年3月31日)
売上高	10,632,118	10,956,836
売上原価	8,714,359	8,823,621
売上総利益	1,917,759	2,133,214
販売費及び一般管理費	1,461,562	1,546,715
営業利益	456,197	586,499
営業外収益		
受取利息	5,370	5,686
受取配当金	2,164	2,517
保険解約返戻金	14,806	38,506
その他	62,359	68,435
営業外収益合計	84,702	115,146
営業外費用		
支払利息	28,042	20,842
災害による損失	—	6,174
その他	33,887	15,185
営業外費用合計	61,929	42,203
経常利益	478,969	659,442
特別利益		
固定資産売却益	238,427	—
その他	0	—
特別利益合計	238,427	—
税金等調整前四半期純利益	717,397	659,442
法人税、住民税及び事業税	105,313	179,791
法人税等調整額	△17,515	13,018
法人税等合計	87,797	192,810
四半期純利益	629,599	466,631
親会社株主に帰属する四半期純利益	629,599	466,631

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成31年3月31日)
四半期純利益	629,599	466,631
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,644	△28,049
為替換算調整勘定	128,490	21,822
その他の包括利益合計	125,846	△6,227
四半期包括利益	755,445	460,404
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	755,445	460,404
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成31年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	717,397	659,442
減価償却費	449,052	456,962
のれん償却額	65,368	43,578
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△299	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	77,442	80,720
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,727	△2,415
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4,321	194
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,773	△7,520
固定資産売却損益(△は益)	△243,172	△1,535
受取利息及び受取配当金	△7,535	△8,204
保険解約損益(△は益)	△14,806	△38,506
支払利息	28,042	20,842
売上債権の増減額(△は増加)	△9,077	△38,015
たな卸資産の増減額(△は増加)	△130,640	△398,518
未収入金の増減額(△は増加)	△7,084	△11,136
仕入債務の増減額(△は減少)	75,749	91,188
未払金の増減額(△は減少)	1,641	45,310
未払費用の増減額(△は減少)	9,218	△19,998
その他	△26,597	△82,514
小計	979,426	789,874
利息及び配当金の受取額	7,535	8,204
利息の支払額	△30,448	△22,895
法人税等の支払額	△233,253	△147,884
法人税等の還付額	9,875	54,573
営業活動によるキャッシュ・フロー	733,134	681,872

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成31年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,000	—
定期預金の払戻による収入	48,000	—
有形固定資産の取得による支出	△402,352	△381,203
有形固定資産の売却による収入	814,942	6,840
投資有価証券の取得による支出	△2,046	△2,189
保険積立金の払戻による収入	31,964	89,834
その他	△106,929	△63,280
投資活動によるキャッシュ・フロー	353,577	△349,998
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△166,500	—
長期借入れによる収入	800,000	630,000
長期借入金の返済による支出	△683,030	△542,688
セール・アンド・リースバックによる収入	—	49,368
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△92,875	△60,092
社債の償還による支出	△251,280	△257,280
自己株式の取得による支出	—	△133
配当金の支払額	△201,795	△164,030
財務活動によるキャッシュ・フロー	△595,481	△344,856
現金及び現金同等物に係る換算差額	55,525	△5,263
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	546,756	△18,246
現金及び現金同等物の期首残高	3,727,517	4,089,657
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,274,273	4,071,411

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(連結子会社の吸収合併)

当社は、平成31年1月31日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社三ツ知春日井を吸収合併することを決議し、同日付けで合併契約を締結いたしました。

(1) 取引の概要

① 被結合企業の名称及び事業の内容

被結合企業の名称	株式会社三ツ知春日井
事業の内容	自動車部品等の製造・販売

② 企業結合日

令和元年7月1日(予定)

③ 企業結合の法的形式

当社を存続会社とし、株式会社三ツ知春日井を消滅会社とする吸収合併方式

④ 結合後企業の名称

株式会社三ツ知

⑤ その他取引の概要に関する事項

株式会社三ツ知春日井は、平成23年12月1日に当社グループの冷間鍛造技術力及び、製造・販売基盤の強化を図るため、TRWオートモーティブジャパン株式会社からの株式譲渡により設立された当社の完全子会社であります。当社は、平成29年1月に本社機能を名古屋市守山区から工場がある愛知県春日井市に移転し、工場と一体となって効率化を進めてまいりましたが、経営資源の集約・効率的な組織運営を図ることを目的として、株式会社三ツ知春日井を吸収合併することといたしました。

(2) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成31年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成31年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行う予定であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年7月1日至平成30年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	中国	合計
売上高					
外部顧客への売上高	7,936,183	959,346	1,398,192	338,397	10,632,118
セグメント間の内部売上高 又は振替高	886,971	8,904	148,628	162	1,044,667
計	8,823,155	968,250	1,546,820	338,559	11,676,785
セグメント利益	286,739	43,929	86,697	13,113	430,480

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	430,480
セグメント間取引消去	25,717
四半期連結損益計算書の営業利益	456,197

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年7月1日至平成31年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	中国	合計
売上高					
外部顧客への売上高	8,100,563	970,924	1,526,734	358,614	10,956,836
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,036,919	7,652	180,231	409	1,225,213
計	9,137,482	978,576	1,706,966	359,023	12,182,049
セグメント利益	393,935	51,639	122,630	4,475	572,681

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	572,681
セグメント間取引消去	13,817
四半期連結損益計算書の営業利益	586,499

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売実績の状況

当第3四半期連結累計期間における販売実績を用途品目別に示すと、次のとおりであります。

用途品目		前第3四半期 連結累計期間 (千円)	当第3四半期 連結累計期間 (千円)	前年同期比 (%)	前連結会計年度 (千円)
自動車用部品	シート用部品	4,544,301	4,707,588	3.6	6,076,709
	ウインドウレギュレーター用部品	1,044,783	1,090,043	4.3	1,382,982
	ロック用部品	548,795	557,497	1.6	731,296
	エンジン用部品	1,628,323	1,668,464	2.5	2,201,728
	足回り用部品	1,222,642	1,197,911	△2.0	1,620,163
	その他	1,067,078	1,129,108	5.8	1,443,802
	小計	10,055,924	10,350,614	2.9	13,456,683
その他	576,194	606,221	5.2	717,403	
合計		10,632,118	10,956,836	3.1	14,174,087

(注) 1 上記の金額には、消費税は含まれておりません。

2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		(参考) 前連結会計年度	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
シロキ工業株式会社	2,214,752	20.8	2,174,714	19.8	2,940,242	20.7

(参考資料)

平成31年6月期 第3四半期 決算発表参考資料

平成31年4月26日

1. 連結業績

(単位：百万円、%、()は売上高比率)

	前年同四半期 平成29.7～平成30.3	当第3四半期 平成30.7～平成31.3	増減額	増減率 %	通期予想 平成30.7～令和1.6	対前年 増減率%
売上高	10,632 (100.0)	10,956 (100.0)	324	3.1	14,607 (100.0)	3.1
営業利益	456 (4.3)	586 (5.3)	130	28.6	731 (5.0)	33.2
経常利益	478 (4.5)	659 (6.0)	180	37.7	810 (5.5)	32.0
親会社株主に 帰属する純利益	629 (5.9)	466 (4.3)	△162	△25.9	576 (3.9)	△19.3
1株当たり純利益	248円70銭	184円33銭			227円83銭	
設備投資	539	414	△125	△23.2	698	△5.3
減価償却費	449	456	7	1.8	608	1.8
為替レート(USD)	111.81円	110.82円			110.00円	
為替レート(THB)	3.33円	3.40円			3.40円	
為替レート(CNY)	16.65円	16.55円			16.00円	
連結子会社数	6社	6社			6社	

2. セグメント情報

(単位：百万円、%、()は構成比、上段は売上高、下段[]は営業利益)

	前年同四半期 平成29.7～平成30.3	当第3四半期 平成30.7～平成31.3	増減額	増減率 %	通期予想 平成30.7～令和1.6	対前年 増減率%
日本	8,823 (82.5) [286]	9,137 (83.4) [393]	314 [107]	3.6	12,225 (83.7) [487]	3.8
米国	968 (9.0) [43]	978 (8.9) [51]	10 [7]	1.1	1,320 (9.0) [67]	1.9
タイ	1,546 (14.5) [86]	1,706 (15.6) [122]	160 [35]	10.4	2,198 (15.0) [151]	5.0
中国	338 (3.2) [13]	359 (3.3) [4]	20 [△8]	6.0	453 (3.1) [5]	2.8
セグメント 間取引消去	△1,044 (△9.2) [25]	△1,225 (△11.2) [13]	△180 [△11]	—	△1,590 (△10.8) [19]	—
合計	10,632 (100.0) [456]	10,956 (100.0) [586]	324 [130]	3.1	14,607 (100.0) [731]	3.1

3. 連結経常利益増減要因 4. セグメント別業績の推移

(対前年同期比較)

(単位：百万円、上段は売上高、下段[]は営業利益)

(単位：百万円)		H27/6期	H28/6期	H29/6期	H30/6期	R1/6期(予)
要 因	金額					
	増産の影響	141				
	合理化	87				
増益	計	229				
減益	諸経費増加	△98				
	計	△98				
	差引営業利益の増減	130				
営業外収支の増減	50					
差引経常利益の増減	180					
		H27/6期	H28/6期	H29/6期	H30/6期	R1/6期(予)
日本	11,168 [296]	10,656 [287]	11,291 [403]	11,779 [319]	12,225 [487]	
米国	972 [78]	1,240 [73]	1,230 [65]	1,295 [66]	1,320 [67]	
タイ	2,435 [218]	2,243 [197]	1,886 [115]	2,093 [136]	2,198 [151]	
中国	352 [5]	529 [30]	403 [△6]	441 [9]	453 [5]	
セグメント 間取引消去	△1,224 [142]	△1,289 [23]	△1,371 [26]	△1,436 [17]	△1,589 [19]	
合計	13,703 [741]	13,380 [612]	13,440 [604]	14,174 [548]	14,607 [731]	